

臨床研究中核病院



北海道大学病院  
オンライン市民公開講座

特別講演 科学と社会を結ぶ挑戦事例!

## 沖縄美ら海水族館における サイエンスコミュニケーションと その役割



患者さんや市民の皆さまが研究開発にどう関わり、未来の医療を共に創っていただけるのか、日本医療研究開発機構(AMED)の取り組みや北海道大学病院の挑戦、子どもたちと創る医療機器、患者中心の防災支援や医療イノベーションなどの事例をもとに探ります。特別講演では沖縄美ら海水族館の科学と社会をつなぐ活動を紹介し、立場を超えた対話から新たな共創の未来を描きます。

テーマ

# 研究開発における 患者市民参画

あなたの **声** を未来の医療に

[配信期間]

2025 **2.21** (金) >> **3.2** (日)

[視聴方法] インターネットで配信いたします。  
お申し込み後、視聴URLをメールにて発行します。

[申込方法] 下記URL、または右記の2次元バーコードよりお申し込みください。  
<https://hokudai.doorkeeper.jp/events/180601>

視聴無料

事前のお申し込みが必要です。

定員 **200**名

どなたでもご参加  
いただけます。



— 申込締切 —


主催:  北海道大学病院 HOKKAIDO UNIVERSITY HOSPITAL 事務局: 北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 教育・研修委員会 <https://helios.huhp.hokudai.ac.jp/>

後援: 北海道、札幌市、北海道新聞社、読売新聞北海道支社、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

2025  
**3.2** (日) まで

# PROGRAM | プログラム

総司会: 渡邊 祐介 (北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 臨床研究開発センター長補佐)  
梅津 真里奈 (表皮水疱症友の会Debra Japan)

開会の挨拶	◎渥美 達也 (北海道大学病院長)
講演 ①	医療研究開発への患者・市民参画(PPI)とは:医療の「社会共創」を目指して ◎勝井 恵子 (日本医療研究開発機構(AMED)研究開発統括推進室 研究開発企画課 社会共創推進グループ)
講演 ②	北大病院における患者市民参画への取り組み ◎渡邊 祐介 (北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 臨床研究開発センター長補佐)
講演 ③	患児とつくる医療機器! デジタルリハビリテーション機器開発におけるPPIの取り組み ◎荒 桃子 (北海道大学 消化器外科I/北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構)
講演 ④	共創から生まれるイノベーション ◎石井 洋介 (おうちの診療所中野 院長 / 株式会社omniheal 代表取締役)
講演 ⑤	当事者の声を形に —”がまん”しない聴障防災を目指して— ◎高野 賢一 (札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授)
講演 ⑥ 特別講演	 沖縄美ら海水族館におけるサイエンスコミュニケーションとその役割 ◎佐藤 圭一 (一般財団法人 沖縄美ら島財団 水族館管理センター 統括)
対話セッション	Speak up!! それぞれの声 《パネラー》 演者 + 梅津 真里奈 (表皮水疱症友の会Debra Japan)
閉会の挨拶	◎佐藤 典宏 (北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構長)

講演順が変更する場合があります

## SPEAKER | 出演者

講演 ①	 日本医療研究開発機構(AMED)研究開発統括推進室 研究開発企画課 社会共創推進グループ <b>勝井 恵子</b> Keiko Katsui 2007年お茶の水女子大学文教育学部卒業。2009年東京大学大学院教育学研究科修士課程修了、2015年博士課程単位取得満期退学。2017年博士(医学)。東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野を経て、2017年よりAMED勤務。	講演 ②	 北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 臨床研究開発センター長補佐 <b>渡邊 祐介</b> Yusuke Watanabe 医学博士。医師として診療と研究に従事しながら、研究開発の支援を担う。厚生労働省での行政経験を経て、2020年より現職。北大病院の患者市民参画(PPI)プロジェクトの中心メンバーであり、普及啓発に取り組んでいる。
講演 ③	 北海道大学 消化器外科I 北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 <b>荒 桃子</b> Momoko Ara 平成19年鳥取大学医学部卒業、医学博士、日本外科学会専門医、日本小児外科学会専門医。幼少期よりゲームは苦手であったが、先天的な肛門疾患の術後機能回復を目指してゲーム形式の医療機器開発に取り組んでいる。	講演 ④	 おうちの診療所中野 院長 株式会社omniheal 代表取締役 <b>石井 洋介</b> Yosuke Ishii 自身が潰瘍性大腸炎のため19歳で大腸を失ったことをきっかけに医師を志す。高知大学医学部卒業、消化器外科医として手術をこなす中で、大腸癌などの早期発見を目指す多職種チーム「日本うんこ学会」の設立を行い、スマホゲーム「うんコレ」を開発した。
講演 ⑤	 札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 <b>高野 賢一</b> Kenichi Takano 2001年札幌医科大学医学部卒、2018年より現職。難聴支援ネットワークを設立し、難聴医療の底上げに尽力。災害時の聴覚障害者支援として、視覚情報を活用した双方向情報伝達WEBシステムの開発に取り組んでいる。	講演 ⑥	 一般財団法人 沖縄美ら島財団 水族館管理センター 統括 <b>佐藤 圭一</b> Keiichi Sato 1971年生まれ。北海道大学大学院博士後期課程修了(博士・水産学)。沖縄美ら海水族館、沖縄美ら島財団総合研究センター・動物研究室長を経て、現在は沖縄美ら海水族館・統括。専門はサメ類の比較解剖学・分類学・繁殖生態学。
パネラー	 表皮水疱症友の会Debra Japan <b>梅津 真里奈</b> Marina Umetsu 表皮水疱症について、自身の経験を含め啓発活動に取り組む。北海道オホーツク地方を中心に、司会やラジオのパートナリティーとして活動。演劇が大好き!	お申込みは下記URL、または右記の2次元バーコードよりお申し込みください。 <a href="https://hokudai.doorkeeper.jp/events/180601">https://hokudai.doorkeeper.jp/events/180601</a>	

